

大腸癌-36

治癒切除不能な進行・再発の結腸・大腸癌
サイラムザ+FOLFIRI療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース14日間 PDまで 《開始時基準 PS・年齢:制限なし》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ	生食 500mL	—	day1	—	5-FU:(持続)の投与量に合わせて、トレフューザーtypeT流量換算表より生食量を算出する。	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン H ₁ ブロッカー(ポララミン等)+生食100mL		day1	30分		
①	サイラムザ: 8mg/kg 生食(250-サイラムザ投与量)mL	mg	day1	1時間 (注1)		
フラッシュ	サイラムザ投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュを行う。					
②	イリノテカン: 150mg/m ² 5%ブドウ糖 500mL	mg	day1	2時間		
③	レポホリナート: 200mg/m ² 5%ブドウ糖 250mL	mg	day1	2時間		
	★②・③は、同時に投与					
④	5-FU:(急速)400mg/m ² 5%ブドウ糖 100mL	mg	day1	全開		
⑤	5-FU:(持続)2400mg/m ² 生食 (トレフューザーtypeT流量換算表より算出)	mg mL	day1~	46時間		
(注1) サイラムザの投与速度は25mg/分を超えないこと。 ◆5-FU持続投与では、トレフューザーtypeT150mLを使用し、3.7ml/Hrにて投与。 ◆5-FUと生食の比率で流速変化する為、生食投与量はトレフューザーtypeT流量換算表を参照すること。						

佐賀大学医学部附属病院